様式１

# 令和８年度　指定管理施設運営状況中間評価表

１．施設の概要

| | | |
|---|---|---|
| 施設の名称 | 大畑中央公園 | |
| 指定管理者 | 団体名 | 一般財団法人むつ市教育福祉振興会 |
| | 代表者 | 理 事 長　　村　田　　尚 |
| | 所在地 | むつ市大畑町観音堂２５－１ |
| 指 定 期 間 | 令和　８年　４月　１日　～　令和１１年　３月３１日　（ ３ 年間） | |
| 指 定 管 理 業務の概要 | 管理業務の目的<br>　条例に掲げる施設の設置目的を達成するために計画的かつ効率的な施設管理を実施するとともに、市民の健康増進並びにスポーツの振興により生活や文化の向上に寄与することを目的とする。<br>管理業務の範囲<br>・施設運営に係る使用の許可及び利用料金の徴収に関すること<br>・大畑中央公園の施設管理維持に関すること<br>・大畑中央公園の広報及び利用促進に関すること<br>・スポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のための施設提供に関すること<br>・上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること | |

２．収支の状況　※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。
※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。
※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。　（単位：千円）

| 区　　分 | 年間計画額 ① | 上半期実績額 ② | 増　減　(②－①) |
|---|---|---|---|
| 収入合計（A） | ５６，４７１ | ２８，２３７ | ▲２８，２３４ |
| うち利用料金額 | １，７２０ | ７８６ | ▲９３４ |
| うち指定管理料 | ５４，６５１ | ２７，４５１ | ▲２７，２００ |
| 支出合計（B） | ５６，４７１ | ２８，６５２ | ▲２７，８１９ |
| うち人件費 | ２８，１１１ | １６，６２０ | ▲１１，４９１ |
| 収支差　（A－B） | ０ | ▲４１５ | ▲４１５ |
| 市への納入金 | ０ | ０ | ０ |
| 計画額と比較した実績額の増減理由 | ※上半期終了時は記載不要 | | |

３．施設利用の状況　（単位：人）

| | 区　　分 | 年間計画　① | 上半期実績　② | 増　減　(②－①) |
|---|---|---|---|---|
| 利用者数 | 陸上競技場 | ４，０００ | １，４３３ | ▲２，５６７ |
| | 野球場 | １，８００ | １，５８３ | ▲２１７ |
| | 庭球場 | １５０ | ２１ | ▲１２９ |
| | プール | ８，０００ | ３，５１９ | ▲４，４８１ |
| 利用者の声とその対応状況　※利用者アンケートの実施（有・(無)）<br>上半期のアンケートは実施していない。アンケート及び意見書の様式を変更するため協議してい | | | | |

る。１０月に事業及び一般利用者のアンケートを実施し、サービスの向上につなげたい。
　また、ホームページでの情報発信の見直し、利用促進の一助にしたい。
　利用者の声として、『シャワー温度が冷たいので不快だ。もう利用したくないので回数券の返品をしたい。』との意見があった。女子更衣室サーモシャワーの修繕を実施することと返金対応する旨の説明をしたところ、返品はせず修繕後に回数券を利用したいとの返答をいただいた。
　その他、『小プールで幼児が遊んでいるが、監視員が小プールを見ていない。あれでは監視にならない。』という苦情があった。当該職員には指導し、全職員に監視態度の見直しを図った。苦情をいただいた利用者には感謝と指導内容等を伝えた。

４．自主事業の実施状況　（単位：人、千円）

| 事　業　名 | 利用者数 | 収　入 | 支　出 |
|---|---|---|---|
| 水泳教室 | ４５５ | ３７４ | ２６８ |
| 着衣水泳教室 | １６ | ８ | ２２ |
| グラウンド・ゴルフ教室 | ９０ | ３４ | ７４ |
| 熟年軟式野球大会 | ４５３ | ４０ | １６ |
| 少年軟式野球大会 | ４４１ | ４３ | ８５ |
| 雪だるまライトアップフェスタ | ０ | ０ | ２ |

５．個別項目評価　※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準　Ａ（優　良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果を上げることが見込まれる。

Ｂ（適　正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

Ｃ（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ改善の余地がある。

| 評　価　項　目 | 自己評価 | 市の評価 |
|---|---|---|
| (1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況 | | |
| ①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。 | B | B |
| ②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。 | B | B |
| ③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。 | B | B |
| ④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。 | B | B |
| (2) 利用促進に関する取組み状況 | | |
| ①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。 | B | B |
| ②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。 | B | B |
| ③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。 | B | B |
| (3) 効率性の向上に関する取組み状況 | | |
| ①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。 | B | B |
| ②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。 | C | C |
| ③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。 | B | B |
| (4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況 | | |
| ①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。 | B | B |
| ②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。 | B | B |
| ③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。 | B | B |
| ④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。 | B | B |

| (5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況 | | |
|---|---|---|
| ①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。 | B | B |
| ②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。 | B | B |
| ③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。 | B | B |
| ④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。 | B | B |

6．指定管理者総合評価　㊟自己評価をＡとした項目の内容及びＣとした項目の改善策を記載すること。

上半期の利用状況は、利用者数6,556人（前年度9,979人）、利用料金額785,940円（前年度989,210円）だった。前年同時期と比較して、利用者数は3,423人の減少、利用料金は203,270円減少した。

利用者減少の理由は、次のとおりと考える。

陸上競技場においては、1,218人の減少である。大会数は増加したものの規模が小さくなり、特に100人以上の大規模な大会が前年同時期は４件開催されたが、今年度は１件のみであった。また、地域の児童サッカークラブの解散や陸上クラブの利用回数・人数の減少も影響した。

野球場においては、1,317人の減少である。県南の野球大会が昨年度５回あったものが１回に減少し、大会規模も参加人数も全て縮小・減少している。

庭球場においては、123人の減少である。部活動の利用が無く、常連の利用も少なくなった。

プールにおいては、765人の減少である。週末の雨が多く、子ども同士や家族利用が少なかったため、夏休みの利用が伸び悩んだ。また、地震の翌日の点検及び設備の不良に伴う休館があり、利用者数に影響があったことも一因である。施設の老朽化が著しいが、毎月安全点検を実施し、不具合の早期発見と未然に防ぐ努力をしており、自力修繕により、修繕費の削減に努めた。

(3)②について、自己評価を「Ｃ」とした。利用料金収入が減少したためである。また、４月の大規模な職員異動に伴い、施設管理の見直しや事業の課題洗い出しを並行して行い、新規の取組み等ができなかったことも一因である。今後アンケートを実施し改善点を明らかにするとともに、その内容に因って利用者のニーズを把握し、利便性の向上につながるような効果的な取組みを行う。

また、(1)④について、自己評価を「Ｂ」としたのは、アンケート未実施でも接客応対中に利用者の意見を聞き、軽微なものは即座に対応し、それ以外でも誠意をもって対応をしたためである。

7．市の所管課総合評価　㊟市の評価をＣとした項目についての指導内容も記載すること。

・施設の老朽化が目立つなかでも、こまめに点検を行い修繕が必要な箇所は、早期の対応や現状以上の悪化を防ぐ対策をすることで、最小限の修繕に抑えられている点を評価する。
・職員管理では、各種研修や訓練を通してサービスの資質向上や安全対策・危機管理に対する認識を従事する全員が理解できる環境を整えている点を評価する。
・「Ｃ」と評価した項目「収入増を図るための取組みと効果」に関しては、広報活動を積極的に行うなど利用者及び利用料増加への努力をしているが、期待される成果が得られていないため、これまでの事業の見直しや新な取り組みを行うことで、継続的な利用者の確保や増加につながるようなサービスを提供していただくことを期待する。